

《受難節第3主日》

前奏		
招詞	(讃美歌21: 93-1-32)	
頌栄	24 (たたえよ、主の民)	
主の祈り		*下記をご覧ください。
讃美	430※1, 3のみ (とびらの外に) **	
交誦	『交誦詩編』86: 5~10	
信仰告白	使徒信条 *下記をご覧ください。	
聖書	旧約 サムエル記下 6: 1~19 (旧約488頁)	
	新約 ヘブライ人への手紙 2: 10~18 (新約402頁)	
祈り		
讃美	434※1, 3のみ (主よ、みもとに) **	
説教	『憐れみ深い大祭司イエス』 牧師 正田國磨呂	
祈り		
讃美	433※1, 6のみ (あるがままわれを) **	
献金		
頌栄	29 (天のみ民も)	
派遣・祝祷		
報告		
後奏	**讃美歌は短めとなります。	

主の祈り

天にまします我らの父よ、  
ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。  
み国を來たらせたまえ。  
みこころの天になるごとく  
地にもなさせたまえ。  
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。  
我らに罪をおかす者を 我らがゆるすごとく、  
我らの罪をもゆるしたまえ。  
我らをこころみにあわせず、  
悪より救い出したまえ。  
国とちからと栄とは  
限りなくなんじのものなればなり。  
アーメン。

使徒信条

私は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。  
私はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、三日目に死人のうちよりよみがへり、天に昇り、全能の父なる神の右に坐したまへり、かしこより来りて、生ける者と死ねる者とを審きたまはん。

私は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交はり、罪の赦し、からだのよみがへり、とこしえのいのちを信ず。

アーメン。